

連帯の絆を深め さらなる 飛躍に向かって

滑川市長 中 屋 一 博



新年明けましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい平成十六年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び
申しあげます。

「月日の流れは大河の如し」と申しますが、本当に早いもので市長就任以来
アツと言う間の2カ年余りであったと思います。

取り分け、昨年は、市制施行五十周年という記念すべき年を迎え、十一月の記
念式典を始め、各種記念行事も盛会裡に開催することができました。

五十年の節目、正に滑川の良き伝統を育み、止揚し、そして現代に引き継いで
こられた先人先達の英知と営為の跡を回顧しさらなる飛躍を決意する絶好の機会
であったと思います。

「山河萬緑有磯邊、慶賀盛典五十年、

刻勵先人営為願、愛郷無限拓新編」これが、私の心境でありました。
あらためて関係各位の今日までのご尽力ご努力に衷心より敬意と感謝を申し上
げます。

ところで、国においては地方交付税や国庫補助負担金の削減、国から地方への
税源の移譲、いわゆる「三位一体の改革」も未だ不透明で予断を許さない財政環
境であります。

しかし、本市においては、東部小学校の大規模改造事業も完了し、また、全国
初となるインテリジェント・エコスクール早月中学校の全面改築もほぼ終えまし
た。

これにより、市内二中学校が全国的に誇れる教育施設として整備され、未来を
担う児童生徒がひかり輝き、学業にスポーツにより精励してくれるものと期待し
ております。

さらに、新年度においては、西部小学校の増築を進めるほか、本市活性化の起
爆剤として、海洋深層水を供給する深層水分水施設の建設や、福祉施設を含む
(仮称)市民交流プラザ建設に向けた事業を進めることとしております。

論語の中で、子曰く、政治の要諦は「近者説、遠者来」 近き者説べば、遠き
者来たらんと、あります。

地方交付税の減額等により、かつてない厳しい状況が続くものと見込まれます
が、すべての市民がお互いに、あらゆる分野で力を合わせ、語らい、励まし合い
ながら、連帯の絆を深め、市民の行政への積極的参加とボランティアの力をお借
りし、より一層の行財政改革を進め、創意と工夫を凝らし「ときめき かがやき
ひかりの街 なめりかわ」そして、日本一の福祉都市実現に向け、全力を傾注
して市政運営に取り組んでいく所存であります。

終わりに、本年も変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様
方のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新 年



改革と活性化を基本に

滑川市議会議長 高橋 久光

市民の皆様あけましておめでとうございます。
輝かしい新春を皆様とともに迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。
新しい年が滑川市に繁栄をもたらし、より飛躍する年になりますよう心から願っております。

私は、昨年十二月定例市議会におきまして、市議会議長の要職に就くことになりました。大重副議長ともども、滑川市政の限らない伸展と円滑な議会運営に全力を傾注する覚悟であります。

昨年は、市制施行五十周年という節目を迎え、迎えた本年は躍進の年として位置づけ、市民福祉の増進と潤いに満ちた生活の恒常化に向けて一段の努力を傾注しなければなりません。

今、我が国は、急激な少子高齢社会の到来、経済のグローバル化への移行、さらには住民の価値観・生活様式の多様化等、社会経済全般にわたり構造的な変化に直面しており従来のシステム全体の変革と新たな創造が求められております。

近年の厳しい諸情勢の中で私共議員の果たすべき役割と責任はますます増大し、将来を見据えた総合的な地域福祉の推進、生活関連施設の拡充、災害に強いまちづくり、農林水産業の振興等個性豊かな活力あるさとづくりを積極的に推進することを命題として痛感しております。

一方、国においては、地方分権時代にふさわしい地方財政基盤の確立を図るために、国庫補助負担金、地方交付税の交付改定、税源移譲を含む財源配分の見直し等の三位一体の改革が唱えられ検討がなされております。

このような現況をふまえ、私共議員は市民の皆様のご代表としての責務と役割の重きを深く自覚し、決意を新たに自らの行財政改革の徹底と議会の活性化に取り組んでおります。

また、十二月議会において、全議員による議員定数の見直しを目的とした「議員定数並びに議会改革特別委員会」を設置いたしました。

議会は、住民の負託に応え民主政治を支える重要な機関であることを認識し、一丸となって住民福祉の向上に努力していく覚悟でありますので、市民の皆様には、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

市民の皆様のご多幸とご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹 賀